

# 韋駄天の記

劇作家 岡部耕大

②

結局、松浦へ帰ることになった。女は、生まれ故郷が素直に好きである。男は複雑に好きである。隠岐汽船に勤めていた父は、母の親戚のゴネで松浦市役所へ勤めることになったのである。ゴネはいつの時代でもある。星鹿から隠岐へ、そしてまた松浦へ。韋駄天走りであった。悲劇も繰り返せば喜劇である。

語「東京物語」「赤線地帯」。洋画では「静かなる男」「禁じられた遊び」「シエーン」。新東宝のわき毛のある女優の裸映画も隠れて見た。「社会派」「肉体派」という言葉もあった。あ、貸し本屋もあった。

## 少年は妄想をする

で見える建造物は万里の長城だ。ユーシカルで取り上げた。利子姉さんは、よくわが家へ遊びに来ていた。そして「うちそ「人工衛星から肉眼で見えるほど地球に傷を付けた最初の男」とも言える。徐福は秦の始皇帝の命令で不老長寿の靈薬を

志佐小学校の同級生は詮索をしなかった。志佐には炭鉱があった。不老山炭鉱である。不老山には徐福伝説がある。秦の始皇帝に仕えた徐福である。秦の始皇帝は中国を統一すると、外敵を防ぐために万里の長城を築いた。

中国では「人工衛星から肉眼



おかへ・こうだい 1979年に「肥前松浦兄妹心中」で岸田戯曲賞を、89年に「亜也子」で紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。日本劇作家協会元理事。松浦市で毎年、子供たちにミュージカルを指導している。川崎市在住。70歳。

た。和子姉さんはほほ笑みながら、赤い短パンで広い庭の芝生に水をまいている。白く長い8頭身美人の脚である。庭では子どもたちが遊んでいる。わたしは東京・砧の東宝撮影所で映画監督をしている。そんな妄想をした。東宝映画の影響である。少年は妄想をする。「わたしの父と母は実の父と母ではない。実の父は外国航路の船長で、ある日札幌をかばいっばいに詰めて、黒塗りのベンツでわたしを迎えに来る。育ての親の父と母は札幌に目くらみ、わたしを引き渡す」。これも映画の影響である。あれは大映画の影響ではなかったか。

(松浦市出身)